

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | |
|------|---|------|----------------------|
| 施設名 | 新潟市城山運動公園屋内コート | | |
| 管理者名 | 西蒲スポーツ振興グループ | 指定期間 | 令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 |
| 担当課 | 西蒲区地域総務課 | | |
| 所在地 | 新潟市西蒲区峰岡580番地 | | |
| 根拠法令 | スポーツ基本法 | | |
| 設置条例 | 新潟市体育施設条例 | | |
| 施設概要 | 建築面積 3,608.75㎡ 延床面積 3,505.06㎡ 構造 鉄骨造平屋建 主要設備 アリーナ（人工芝）、事務室、会議室、シャワー室、更衣室、トイレ、多目的トイレ、倉庫 | | |

| 施設設置目的 |
|---|
| スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。 |
| 管理・運営に関する基本理念、方針等 |
| (1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。 |

令和4年度

| 視点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価※ | 評価コメント※ |
|----|--------------------|---|--|-----|--|
| 市民 | 広報の充実 | ホームページ等による施設の情報を月1回以上更新 | ホームページやフェイスブックの随時更新の他に、年に1回西蒲区7,630世帯へチラシの新聞折込、西蒲区内小学校へのチラシ配布、区報・市報の掲載等で施設の広報に努めている | A | 様々な媒体を活用し、施設のPRを行っており、評価できる。 |
| | 基準利用時間数の達成 | 利用者数年間22,000人以上 | 年間利用者数18,843人で目標を下回った(対目標85.6%) | B | 新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用者の目標達成が困難であったことを鑑みB評価とする。 |
| | 基準稼働率の達成 | 利用者アンケートで「満足」が60%以上 | 管理面88%、接客面92%が満足と回答、施設全体の満足度も92%が満足と回答 | A | 目標値を大きく上回っており評価できる。 |
| | 苦情・要望に対する対応 | 苦情・要望には10日以内に回答 | 即日回答を基本として、7日以内に回答している、また利用者意向調査票を用いて職員間の情報共有も行っている。 | B | |
| | 地域連携・社会貢献活動 | 社会貢献活動(地域連携事業)年1回以上実施 | 地元保育園と園内でチューリップの球根掘り・球根植え等を年3回行うことで社会貢献活動に繋がった。また地元中学校の職場体験の受け入れを年1回行った。さらに、屋内コートではコミュニティー協議会との連携したレクリエーション大会を年1回開催した。 | B | |
| | 設置目的に合致したサービス提供 | 本市施策に合致した自主事業(スポーツ教室等)の実施 | 角田山一周ハーフマラソン大会等を開催し市民の健康増進、運動機会の創出に寄与した。また、ホッケー協会と共催でホッケー体験教室を年2回開催した。アルビレックスサッカー教室も年25回開催した。また、自動販売機を設置し、熱中症対策スポーツ環境の向上に寄与した。さらに熱中症対策としては大型扇風機の設置、氷嚢の準備をした。 | A | ハーフマラソンの開催など地域住民のスポーツ振興に貢献しており評価できる。 |
| 財務 | 使用料収入の達成 | 使用料収入を年間5,300千円以上(免除料金含む) | 7,063,550円(免除使用料1,294,500円含む)で目標を上回った(対目標133.2%) | A | 対目標比133.2%であり評価できる。 |
| | 管理運営経費削減への取り組み | 省エネ・環境に配慮した取り組みの実施 | コピー用紙は再生紙を使用、事務用品はエコマーク商品やカーボンオフセット商品を購入するなど環境に配慮した。 | B | |
| | 他施設との連携に関する理解 | 他施設と連携会議を実施 | 他施設との連携会議を実施している他に、随時情報共有や広報での連携を行っている。 | B | |
| | 事業計画・事業報告の適切さ | 事業報告の締切厳守及び、報告が分かりやすく、かつ正確である | 締切を遵守している。内容については、よく精査したうえで計画及び報告をしている。 | B | |
| | 安全責任者の配置と安全確保体制の確立 | <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの職員周知 防災訓練年2回以上実施 | 防災訓練を年2回実施する他、年1回安全管理の研修を実施している。また、夏前に熱中症への予防と発生時の対応を策定し、シミュレーションを行っている。避難所開設時のマニュアルを職員間で周知し非常時にすぐ行動できるようにしている。また、今年度は新たに安全衛生管理者教育研修を受けた。 | A | 目標を超えて研修・訓練を実施したほか、新たな研修を実施した点が評価できる。 |

| | | | | | |
|----|------------------------|--|---|---|--|
| 業務 | 事件・事故発生時の対応の適切さ | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全確保のための対応が整理されている（避難の誘導や蘇生対応等） ・市の主管課及び警察や消防への連絡体制が整備されている ・事故・事件対応訓練や講習会の実施 | 各安全対応マニュアルをもとに、利用者への安全対応を整理している。また、各機関への連絡体制も表として事務所に掲示し整備している。マニュアルや事例をもとに総合的にミーティングで訓練している。 | B | |
| | 自己管理システム | 事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載 | 業務の自己点検をどのように運営業務へ活かしているか、より明確かつ具体的に記載している。 | B | |
| | 事故防止の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・補償を伴う事故発生件数0件 ・設備、備品等の点検、事故防止対策の実施 | 事故発生防止に努めた結果、補償を伴う事故0件、AED使用0件 | B | |
| | 関係法令の遵守 | 個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修年1回以上 | 年1回の研修実施と、月に1回のスタッフミーティングで随時確認を行っている。また、保管不要な書類はシュレッダーをかけて外部へ情報が漏れないよう取り組んでいる。 | B | |
| | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | その他業務仕様書等に定める事項の遵守 | 遵守している。特に日常点検・清掃については、予約状況から優先順位を決めて高頻度で行っている。 | B | |
| 人材 | 配置人員条件の充足 | 業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置 | 適切に配置している他、資質向上のために随時研修を受講させている | B | |
| | 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 | 職員研修を年2回以上実施 | 月に1回の定例ミーティング内で実施する他、熱中症研修（全職員）、刈払機講習（該当者）を受講させ、安全管理体制強化に努めている。その他、資質向上のために随時研修を受講させている。 | B | |
| | 労働基準の充足 | 労働関係法令の遵守 | 遵守の結果、労働基準違反に該当する問題年0件、社会保険料の滞納なし、その他該当する違反、滞納なし | B | |

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

利用者数については対目標対目標85.6%と僅かに基準利用者数を下回った。また、利用者アンケートで満足度92%といただくことができた。今後もよりよい利用者サービスを行っていくとともに、規模が大きい大会が開けるような施設のクオリティー改善、県内外への広報活動に努めていきたい。

業務においては、消防訓練や熱中症対策研修、AED講習を実施し、さらに社内パトロールにて危険の早期発見及び事故防止に努めた結果、補償を伴う事故0件、AED使用0件を達成することができた。

また、地域連携・社会貢献活動では例年の角田山一周ハーフマラソン大会に加え、地元保育園とチューリップの球根掘り(外遊び)、中学校職場体験受け入れ、コミュニティー協議会との連携したレクリエーション大会など幅広く取り組むことができた。今後も地域に貢献できる活動を行っていきたい。

所管課による総合評価(所見)

指定管理者として、今までの経験を生かした安全で安心な施設管理を行っている。新型コロナウイルスの影響がある中で利用者数が目標に届かなかったものの、使用料収入が目標から大きく上回ったことは評価できる。また、角田山ハーフマラソン開催など地域との連携活動や中学生職場体験受け入れなどを実施している点も高く評価する。今後も引き続き利用者が安心して利用できるよう施設の運営やサービス向上に努めていただきたい。